

# 入札説明書

(倉敷市一般廃棄物処理施設の余剰電力自己託送事業)

令和7年8月

倉敷市環境局資源循環部

環境施設課

## 項目及び構成

- 1 発注者
- 2 発注担当部局
- 3 一般競争入札に付する事項
- 4 入札資格
- 5 質問
- 6 入札参加資格確認申請
- 7 入札
- 8 開札
- 9 契約
- 10 その他

## 1 発注者

倉敷市

## 2 発注担当部局

〒710-8565

倉敷市西中新田640番地

倉敷市環境局資源循環部環境施設課

電話：(086) 426-3381 (直通)

E-mail：efac-eng@city.kurashiki.okayama.jp

## 3 一般競争入札に付する事項

### (1) 件名及び数量

倉敷市一般廃棄物処理施設の余剰電力自己託送事業

予定自己託送供給電力量 24,951,587kWh/年

予定自己託送後余剰電力量 12,693,854kWh/年

予定自己託送後不足電力量 7,883,596kWh/年

### (2) 上限額 (3年間の合計)

自己託送支援等業務委託料金

305,407,422円 (消費税及び地方消費税10%を含む)

自己託送後不足電力需給電力料金

1,192,709,436円 (消費税及び地方消費税10%を含む)

### (3) 件名の特質等

入札説明書及び仕様書による。

### (4) 契約期間

契約締結の日から令和11年3月31日まで。

### (5) 履行期間

令和8年4月1日から令和11年3月31日まで。

### (6) 履行場所

仕様書による。

## 4 入札資格

次の各号に定めるすべての要件を満たす者。

### (1) 地方自治法施行令 (昭和22年政令第16号) 第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。

### (2) 電気事業法 (昭和39年法律第170号) 第2条第1項第3号に規定する小売電気事業者として登録を受けている者、または、小売供給契約の締結の取次ぎによって本入札に参加す

ることが可能な者であること。

- (3) 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第34条第4項の規定に基づき、経済産業大臣により公表されている者ではないこと。
- (4) 公告日から開札日までの間のいずれの日においても、営業停止処分または本市の指名停止措置を受けていないこと。
- (5) 本入札に係る入札参加資格確認申請を行い、市より参加資格を有する通知を受けた者であること。
- (6) 開札予定日から遡り2年間に於いて、本入札とはほぼ同規模以上の委託、需給または受給のいずれかの契約を2回以上締結し、かつ誠実に履行していると市が判断した者であること（現在履行中の契約を含む。）。
- (7) 賦課されている税（国税、岡山県税、倉敷市税）を完納していること。
- (8) 代表者または役員等が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団、または同条第6号に規定する暴力団員、あるいはこれらと社会的に非難されるべき関係を有する者ではないこと。
- (9) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て、または民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てを行っていないこと。（ただし、会社更生法に基づく更生手続開始の決定、または民事再生法に基づく再生手続開始の決定を受けその計画が履行されている場合を除く。）

## 5 質問

仕様書等に関する質問がある場合は、次のとおり提出すること。

### (1) 提出方法

質問書は、指定の様式にて作成の上、上記2の発注担当部局へ電子メールにより提出すること。電話、口頭、FAX等による質問は一切受け付けない。また、電子メール送信後は必ずその到着を確認すること。確認を怠った上で電子メールの到着が確認できない場合は、当該質問は無効とする。

### (2) 提出期限

質問書は、令和7年8月22日（金）午後5時00分までに提出するものとし、提出期限を過ぎて提出されたものは無効とする。

### (3) 質問の回答

質問の回答は、令和7年8月29日（金）までに、本市のホームページ（URL:<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/efac/>）で公表するものとする。回答に対する質問は一切受け付けない。なお、この質問回答書は本入札説明書と一体のものとして、同等の効力を有するものとする。質問の内容によっては回答を差し控える場合がある。

## 6 入札参加資格確認申請

本入札に参加を希望する者は、次のとおり入札参加資格確認申請書を提出すること。

(1) 提出方法

入札参加資格確認申請書は、指定の様式にて作成の上、以下(2)の提出書類を添付し上記2の発注担当部局へ郵送（書留郵便に限る。）または持参するものとする。

(2) 提出書類

以下の書類を提出すること。

ア 委任状（指定様式）（代理人が申請する場合（入札時の委任状としての併用可））

イ 登記事項証明書（写し可、提出日において発行日から3か月以内のもの。）

ウ 決算書（写し可、直近3期分のもの。）

エ 納税証明書（国税、岡山県税、倉敷市税に滞納がないことの証明）

※倉敷市や岡山県内に支店等がない場合は国税のみでよい。

オ 印鑑証明書（写し可、提出日において発行日から3か月以内のもの。）

カ 電気事業法（昭和39年法律第170号）第2条第1項3号の規定に基づき、小売電気事業者として登録を受けている者であることを証明する書類（写し可）。取次ぎの場合は、取次契約を締結する小売電気事業者のもの。

キ 契約履歴証明書（指定様式）（契約書の写し添付不要）

ク 誓約書（指定様式）（暴力団排除に関する誓約書）

（注意）申請時に倉敷市契約課の物品入札参加資格者名簿（品目：電力）に登録されている者は、上記書類のうち、ア・カ・キ・クの提出のみでよい。

(3) 提出期限

申請書は、令和7年9月5日（金）午後5時00分までに提出するものとし、提出期限を過ぎて提出されたものは無効とする。

(4) 申請者の義務

申請者は、申請書等に関し市から説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

(5) 参加の可否

参加の可否は、令和7年9月12日（金）までに市から入札参加資格確認結果通知書を電子メールにより通知する。期限が過ぎても通知が届かない場合は、上記2の発注担当部局へ確認すること。

## 7 入札

本入札の参加資格を有し本入札への参加を希望する者は、市が指定する入札書及び入札附属書を次のとおり提出すること。なお、提出した入札書及び入札附属書の取消し、差替、または変更はできないものとする。

本入札の執行は最大3回までとし、初回の入札が不調となった場合、その場で直ちに再度の入札を行うため、再入札を希望する者は、当該回数分以下の入札書及び入札附属書を提出するものとする。

(1) 提出方法

入札書及び入札附属書を指定の様式にて作成の上、封筒に入れて封印（3か所）し、その封皮に入札者の商号または名称を記載し、「令和7年9月19日開札 倉敷市一般廃棄物処理施設の余剰電力自己託送事業の第〇回入札書在中」と朱書すること。これらの入札書及び入札附属書を希望する入札回数（最大3回）分1つの封筒に入れ封皮に「倉敷市一般廃棄物処理施設の余剰電力自己託送事業の入札書在中」と朱書し、上記2の発注担当部局へ郵送（書留郵便に限る。）または持参するものとする。なお、封皮記載の「令和7年9月19日開札 倉敷市一般廃棄物処理施設の余剰電力自己託送事業の第〇回入札書在中」の〇には1から最大3まで記載し、回数が増えるごとに入札金額が低くなるよう作成すること。

(2) 提出期限

入札書及び入札附属書は、令和7年9月18日（木）午後5時00分までに提出するものとし、提出期限を過ぎて提出されたものは無効とする。

(3) 入札書及び入札附属書の作成時の注意事項

以下に注意し作成すること。

ア 本市指定の様式によること。

イ 記載は日本語すること。また、入札金額及び入札附属書に記載する金額は日本国通貨とすること。

ウ 入札書の入札金額と入札附属書の合計金額は一致した金額とすること。

エ 消費税及び地方消費税を含めた金額を記入すること。（消費税及び地方消費税率は、10%とすること。）

オ 入札書及び入札附属書の金額の訂正は認められない。

カ 入札附属書における単価の有効桁は小数点以下第2位まで記載可とする。

(4) 代理人による入札

代理人が入札する場合は以下による。

ア 代理人が入札する場合は委任状（指定様式）を提出すること。（入札参加資格確認申請時と同一の代理人の場合は不要）

イ 代理人は、2人以上の入札者を代理することができない。

ウ 入札者は、他の入札者の代理人となることはできない。

(5) 無効の入札書

以下のいずれかに該当する入札書は、これを無効とする。

ア 入札参加資格のない者が提出したもの。

イ 申請者の義務を履行しなかった者が提出したもの。

ウ 入札書に記名押印がないもの。ただし、外国事業者が押印に代えて署名したものを除く。

エ 入札書のコピー、氏名、印影または重要な文字が誤脱し、または不明であるもの。

オ 提出期限を過ぎて提出されたもの。

カ 本市指定の様式によらないもの。

- キ 封皮に同一の入札回数が記載されているもの。
  - ク 同一の入札回数が記載されているものが2以上あるもの。
  - ケ 封皮に記載された入札回数と、封入されている入札書の入札回数が異なるもの。
  - コ 日本国通貨でないもの。
  - サ 入札書及び入札附属書の金額を訂正したもの。
  - シ 入札金額と入札附属書の合計金額が一致しないもの。
  - ス 入札附属書の単価が仕様書に定める上限単価を超えるもの。及び、単価の有効桁が小数点第2位を超えるもの。
  - セ 入札参加資格確認申請書等に虚偽の記載をした者が提出したもの。
  - ソ 倉敷市財務規則第156条の規定に違反する代理人が提出したもの。
  - タ 談合してしたもの。
- (6) 入札の延期及び中止
- 入札者が談合を行う、または不正な行為をなすなどの場合において、入札の公正な執行が困難であると認められるときは、当該入札者の入札参加を認めず、または入札の執行を延期し、もしくは中止する場合がある。

## 8 開札

(1) 開札の日時及び場所

令和7年9月19日（金） 午前9時00分から  
倉敷市西中新田640番地  
倉敷市役所本庁舎2階 第1入札室

(2) 開札の立会

開札の立会は次による。

- ア 入札者が、開札に立ち会う場合は、令和7年9月18日（木）午後5時00分までに上記2の発注担当部局に連絡をすること（立ち会うことができる人数は、1者につき1名とする）。入札者が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない市職員を立ち合わせて行う。
- イ 入札者は、開札時刻後においては、開札場所に入場することはできない。
- ウ 入札者は、開札場所に入場しようとするときは、入札執行職員の求めに応じ「競争参加資格を証明する書類（資格確認結果通知書の写し）」及び身分証明書または入札権限に関する委任状を提示しなければならない。
- エ 入札者は、入札執行職員またはその補助者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場所から退場することができない。

(3) 落札者の決定方法

以下により落札者を決定する。

- ア 本件公告に示した件名を履行できると本市が判断した入札者であって、予定価格の制限に達した価格のうち最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

イ 開札において、予定価格の制限に達した価格の入札がないときには、直ちに再度の入札を行う。

ウ 落札者となるべき者が二者以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。この場合において、当該入札者または代理人がくじを引くことができないときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない市職員がくじを引くものとする。

エ 発注担当部局は、他の入札者が行った入札価格よりも異常に低い価格をもって入札を行った者がある場合には、当該入札を行った入札者が参加の条件を満たし、かつ、契約の条件を履行することができることを確保するため、当該入札者に照会することができる。

#### (4) 結果の公表

開札結果は、令和7年9月22日（月）以降に、本市のホームページ（URL:<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/efac/>）にて公表する。開札結果の公表内容は、入札書に記載した入札業者名及び入札金額（総額）とする。公表に対する質問は一切受け付けない。

## 9 契約

#### (1) 契約手続における交渉の有無

本市が認める場合を除き、契約手続における契約内容の変更交渉は行わない。

#### (2) 契約書の作成等

契約書の作成については次による。

ア 落札者は、開札結果を公表した日から14日以内に各契約書を作成しなければならない。

イ 各契約書は2通作成し、本市及び落札者がそれぞれ各1通を保有する。

ウ 各契約書の作成に要する費用はすべて落札者の負担とする。

エ 本契約は、三つの契約を一体としているため、本市が落札者と共に各契約書に記名押印しなければ本契約は成立しないものとする。

#### (3) 契約条項

別冊「委託契約書（案）」「自己託送後余剰電力受給契約書（案）」「自己託送後不足電力需給契約書（案）」のとおり。

#### (4) 契約を締結しない場合

以下のいずれかに該当し、市が本契約の締結が困難と判断したときは、市入札における落札決定を取り消す。その際は、それまでに要した費用は落札者の負担とし、かつ、落札者は、入札金額の100分の10を市に支払うものとする。

ア 本契約の締結までに、落札者が「4入札資格」の条件を満たさなくなった場合。

イ 市の承諾なく変更した内容で契約書を作成した場合。

ウ 開札結果を公表した日から14日以内に各契約書を作成しない場合。



## 10 その他

### (1) 入札保証金

市より参加資格を有する通知を受けた者が、本入札に参加する場合は、倉敷市財務規則第154条の規定に該当するとみなし、入札保証金を減免する。

### (2) 契約保証金

落札者が本契約を締結する場合は、倉敷市財務規則第175条の規定に該当するとみなし、契約保証金を減免する。